令和 2 年10月26日

第5回 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの 構築に係る検討会 資料3

ピアサポーターについて

株式会社MARS ピアサポーター 櫻田 なつみ



NPO creationHIT

2009年7月

株式会社MARS

2012年6月開設 多機能事業所 マーレ 生活訓練 訪問生活支援 就労継続支援B型

2013年9月開設 就労継続支援B型事所TERRA

> 2014年6月開設 グループホームm y 夢

2016年9月開設 就労支援事業所co opus

2017年5月開設 生活介護事業所そにあ

ひだクリニック ひだクリニック セントラルパーク 2005年12月 2010年6月 精神科 ひだクリニック 訪問看護ステーション お台場 すぴか 2020年9月 2011年4月

流山市 指定相談支援 事業所ファーレ 2014年4月

医療法人社団宙麦会

合同会社WARP お好み焼き屋焼麦大郎



株式会社MARS 現在社員数32名 当事者社員14名 (統合失調症11名、うつ2名、発達障害1名) (内ピアサポーター11名) 健常者社員18名

ピアサポーター内訳(兼任あり)

*デイケアるえか 2名

* 外来 1名

*マーレ 1名

*TERRA 1名

*マイム 1名

*コパス 3名

*相談支援 1名

* そにあ 1名

事業所には、多くのピアサポーターが配置されています

生活訓練・訪問生活訓練

カフェ(B型)



合)WARP お好み焼き屋



就労継続支援B型

TERRA

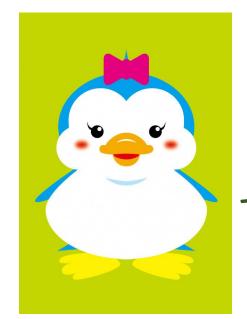


就労移行支援 就労定着支援

生活介護事業所 そにあ

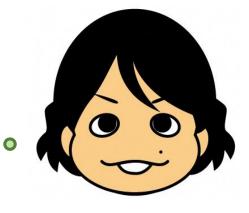


ピアサポーターになろうと思ったきっかけ

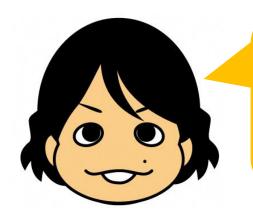


- ピアサポーターとして仕事をしていた。
 - メンバーと楽しそうにしていた。
 - なんだかかっこよく見えた。

ピアサポーターって いいなぁ・・・ やってみたいなぁ・・



最初の仕事



- デイケアでのピアサポート業務 (メンバーと話したりなど)
 - プログラム運営のサポート

など・・・

多機能型事業所での支援員となり・・・

- プログラム運営
- ・記録の入力、確認
 - •請求業務

など・・・

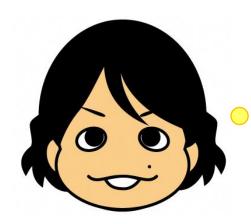
ピアサポーターになってから・・・

順調にいっていたわけではなく・・・



気持ちの変化

最初はうまくいかなかったが・・・



毎回のことだ!

考えても仕方ない!

毎回マイナス思考や被害妄想に悩まされていたが、 ある日を境にこう思えるようになり頭の中がスッキリした。 仕事の時になるとスイッチが入り、切り替えがうまく できるようになった。

ピアと協働することのメリット

- ・ 当事者視点での支援が可能になる。
 - →当事者にしかわからない気持ちや境遇に寄り添って いける(例:お薬の使い心地 など)
- ・当事者として受けたかった支援、受けたくない支援を 具体的に言語化でき、それを基にチーム支援の形を 作ることができる。
 - →体験してきたからこその言葉の重みがある。

ピアサポーターは支援された経験も持ち合わせており、 今まで歩んできた人生経験そのもの支援をする時に 非常に役立つことが多くある

ピアサポーターとして期待すること

- ピアサポーターの活躍している場面をもっと知って ほしい。
 - →ピアサポーターの必要性、可能性を知ってもらう。
- ピアサポーターと専門職とが協働できる環境作り。
 - →専門職への教育の必要性、ピアサポーター自身の 学ぶ機会の提供。

ピアサポーターがいることでの支援の有効性、必要性を 専門職に対して周知していくことが、まずは必要。

ピアサポーターとして期待すること

- ピアサポーターが活躍できる場所の確保。⇒訪問支援、デイケア、福祉事業所など。
- ピアサポーターの強みが発揮できる支援内容の確立。→引きこもりの経験、お薬の使い心地 など。
- チーム支援の中の一員としてのピアサポーターの役割の 確立。

- ピアサポーターがいることで当事者視点での支援が加わり、 支援の幅が広がっていく。
- 協働を進めることで支援の幅が広がっていくことは、 地域で暮らしている当事者・家族にとって良いこと。

当事者として期待すること

- 住み慣れた地域で支援が受けられることほど嬉しいことはない。
 - →地域で暮らしていくための支援内容の充実。
- 相談や支援者にすぐつながるような体制作り。
 - →窓口などの敷居が低くなるような体制作りの必要性。

- 地域で当事者・家族を支えられる体制作りは早急に整えていく必要がある。
- しかしそれに伴っての課題をどう解決していくか、どういう 支援が望まれているのか、などをたくさんの当事者・家族 から集めていくことが大切だと考える。

当事者として伝えたいこと

- 地域で暮らして困っている一人の当事者に対して、様々な 立場の支援者が関わっていくことでその人が地域で暮らし やすくなるよう、支援していってほしい。
- 実際には地域で困っている当事者、家族はたくさんいるが、 支援の手が届いていないことが課題として挙がっている。
- ひとつひとつでいいので、そういった課題を解決し私たち 当事者・家族が地域で安心して暮らしていけるお手伝いを してほしい。
- 困った時にどこにでも、だれとでも繋がっていられるような 仕組みになってくことを、期待したい。
- 地域で活躍できるピアサポーターの育成も必要であり、 多岐に渡って活躍できる場の提供も必要である。

今後やりたいこと

- ピアの可能性やできることをもっと外に発信し、 自分が実際に実証していきたい。
- 就労支援者としての経験をもっと積みたい。
- ・楽しいことをたくさんやって楽しく過ごしたい。

ピアサポーターとしての活躍の場が増え、専門職との協働が今後広がっていくようにしていきたい。 そして、今までできなかったこと、諦めていたことを たくさん経験、体験したいと思う。